令和８年９月定例会

一般質問 ～13人の議員が市政を問う～

※一般質問のタイトルおよび質問内容は質問者の責任において作成しています。

一般質問とは？
皆さんの生活にかかわる問題について、議員が市に対して質問を行います。

加藤　幸子　議員	P 8	埴田　裕之　議員	P 9
田中　猛夫　議員	P 9	中澤　功史　議員	P 10
田邊　寛治　議員	P 10	角田　喜和　議員	P 11
後藤　弘一　議員	P 11	須田　　勝　議員	P 12
高野　佳美　議員	P 12	髙澤　　幹　議員	P 13
茂木　弘伸　議員	P 13	田村なつ江　議員	P 14
福島　丘泰　議員	P 14		

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。映像は各議員のタイトル下の二次元コードからご覧いただけます。



加藤　幸子

市民の生活を守るために

質問　酷暑から命を守るために、生活保護世帯へエアコン設置費用の助成を行う考えは。

市長　生活保護制度に基づき適正な支給が求められていることから、市独自に助成を行うことは慎重な判断が必要と考えています。

質問　高齢者の認知症予防と健康的な生活の実現のために、補聴器購入費助成金を引き上げる考えは。

福祉部長　補聴器の購入価格帯として10万円台のものが一番割合が多いことから、現状の補助額を継続しつつ、他市の動向も注視しながら事業を実施していきます。

質問　10月1日から労働施策総合推進法が改正されるが、ハラスメント条例を設置する考えは。

市長　現段階では考えていません。まずは有効な取り組みを継続することで、ハラスメントのない環境づくりに努めたいと考えています。

PFASから市民を守るために

質問　安全な水の確保と提供は行政の義務であるが、新浄水場完成までの6年間、PFASに汚染された水を飲む子どもたちへの対策の重要性をどう認識しているのか。

市長　子どもたちの健康を守ることは大変重要と認識しています。引き続き、安心して子育てできる環境を整えていこうと考えます。

質問　行政の真の公平性を保つため、PFAS汚染地域の住民の浄水器カートリッジ購入費用の補助や水道代の減免を行う考えは。

上下水道局長　水道法の決まりを満たす水道水であり、市民全体の公平性を確保する観点から、補助や減免は難しいと考えます。



酷暑から命を守るエアコン

一般質問



埴田　裕之

安心安全な市民生活と適正な行政業務

子持行政センター周辺整備事業

質問　要望がかない、令和10年度から11年度に公民館増築等の工事が実施され、令和12年度から移転統合した子持行政センターと子持公民館の供用が始まる予定。公民館を利用する各種クラブや地元の市民、自治会長の皆さまの要望等を聞き設計に生かすことは可能か。

総務部長　ご意見をお伺いする手法や機会について検討し、実行したいと考えています。要望等は内容を精査し、設計に反映可能なものは、生かしたいと考えています。

質問　吹屋交番前の道路が未舗装だが、本稼働の令和12年度までに仮舗装等で全面的な補修は可能か。

総務部長　現子持行政センター庁舎解体後に整備を予定しているため、路面の傷み等を確認し、穴埋め補修等の対応を適宜考えます。

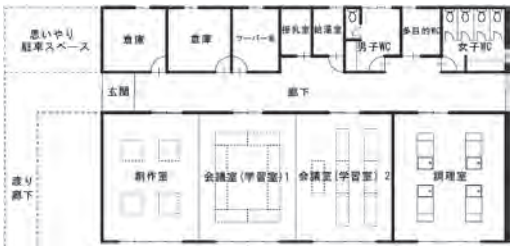
小中学校適正規模・適正配置

質問　提示された2つの方針では、赤城地区から中学校がなくなってしまう。旧町村に小中学校は必要と考える。旧町村ごとに小中一貫校を設置する考えはあるか。

教育長　基本計画の素案にも想定をしており、各地区への設置については、さまざまなご意見を集約し検討しているところです。

質問　小中学校の再編後も北橋中学校の体育館は使用する予定だが、雨漏りの問題が解決していない。雨漏りを解消するための抜本的な対応が必要と考えるが見解は。

教育部長　修繕により改善され、経過観察をしていましたが、大雨で再発した個所があるため、引き続き雨漏り改善を図る予定です。



子持公民館増築棟イメージ図
市民要望が設計に反映される事を期待



田中　猛夫

冷房設備と企業誘致

避難所に冷房設備を

質問　避難所に指定された小中学校体育館の冷房設備の設置状況は。

教育部長　市内小中学校23校の屋内運動場について、今年度各学校に2台ずつスポットクーラーを設置しましたが、冷房設備は現在ありません。

質問　冷房設備の設置は、小中学校適正配置基本計画の策定後に方針を決定するとしているが、令和17年度までに完了させる考えは。

教育部長　適正規模・適正配置基本計画の策定時期は今年度中を目指しており、この計画も考慮しながら、可能な限り早期に着手できるよう準備し、国の目標も目指して進めていきたいと考えます。

質問　令和9年度予算編成の中で検討され予算化されるのか。

教育部長　財政負担を抑えながら実施する必要があるため、国の補助事業の見通しが立ち次第、速やかな事業化を目指します。

進まない企業誘致

質問　企業団地の建設が進まない。企業団地造成計画策定の課題は。

商工観光部長　接続道路や上水道等のインフラ整備、造成工事などに多額の整備費用が掛かるほか、農林調整などに時間が掛かることなど課題が多くあります。

質問　具体的な進出計画があるが調整が進んでいない。市が関与、調整し企業誘致を進める考えは。

商工観光部長　引き合いがあった場合には紹介可能な民間物件の情報提供や、各種法手続や支援制度の紹介等をすることで企業誘致の促進を図っています。



避難所に指定される小中学校体育館



中澤　功史

持続可能な渋川を創ろう

認知症と優しいまちづくり

質問　認知症の方に優しいデザインは、みんなに優しいユニバーサルデザインでもある。新庁舎建設のタイミングで、市が「認知症の方にも優しいデザイン」をガイドラインとして示し、市全体で統一的な整備を進める考えは。

福祉部長　市では高齢者等が暮らしやすい生活環境の整備を推進しており、他市の状況も参考にして、誘導サイン等も考えていきます。

地域と共にある学校の在り方

質問　小中学校適正規模・適正配置を通し、本市が目指す学びの実現に、国が示した規模が必要とされる積極的な理由や根拠は何か。

教育部長　国の標準規模の考え方や手引きなどを踏まえ、庁内や外部有識者による検討委員会において協議し、また教育現場の声を参考に独自の基準設定をしています。

質問　小中学校の統廃合は子育て世代の声を聴く積極的な姿勢が必要である。そのために当初の予定どおり2年をかけて基本計画を策定すべきと考えるが市長の考えは。

市長　子どもの数の激減や施設の老朽化等は喫緊の課題であるため、情報共有をし、意見を交わしながら進めていきたいと考えます。

質問　中学校の再編を先行させ、地域コミュニティの核となる小学校は統合を緩やかに進めるなど段階的な適正規模・適正配置を検討すべきと考えるが教育長の考えは。

教育長　段階的な推進は十分考えられると思います。各地区の話し合いでの意見を受け止め、柔軟に対応をしながら進めていきます。



認知症月間イベントの展示パネルより
本人の声を生かすまちづくりを進めよう



田邊　寛治

渋川市政の威厳とは　指定管理と不祥事対応

質問　指定管理の現状と課題は。

総合政策部長　指定管理施設の総数は15施設で、指定管理料の総額は約5億9700万円です。課題は、収支に影響を及ぼす利用の減少対策と建物の老朽化対策です。

質問　赤字が続いている道の駅おのこの収支改善策は。

農政部長　食堂の価格改定や食材の仕入先変更、直売所の他地区出荷者受け入れ、SNSによる情報発信等に取り組んでいます。

質問　渋川市のコンプライアンスおよびガバナンスの状況は。

総務部長　内部統制を導入し適正な事務執行に努めています。また、職員を対象に各種研修等を開催しコンプライアンスの向上とリスクヘッジを図る対策を講じています。

質問　市の不祥事が起きた際には、どのように対応しているのか。

総務部長　まずは事実を確認し、市長から行政処分審査委員会に諮問をした場合には、その答申を受け、懲戒処分等を実施します。

質問　組織の管理者としての倫理観と対応、責任の取り方は。

市長　最高責任者として、倫理観では権限を持つが故に廉潔性と公平性を徹底すること、不祥事発生時には信頼回復に向けた対策を速やかに行うことと考えます。

副市長　それぞれ市民全体のための行政を推進するため透明性と公平性を維持すること、結果に対して自ら責任を持つことと考えます。

教育長　教職員の監督者として不祥事の実態把握と原因究明、児童生徒の心のケア、再発防止策を早急に検討し説明責任を果たします。



渋川市政の威厳

一般質問



角田　喜和

学校の存続で地域文化の継承を

質問　津久田小学校の児童が津久田人形「傾城阿波の鳴門」を上演するが、このような地域文化の継承には地域に学びの場が必要である。適正規模・適正配置の方針では赤城地区に小中学校がなくなる可能性があるが、小学校は残してほしいという地域の声がある。地域説明会では地域の意見を尊重すると説明しているが間違いないか。

教育長　上三原田の歌舞伎舞台などが小学校で引き継がれていますが、地域の伝統文化に子どもたちが関わることは重要です。統廃合は学校現場や地域の声を聞きながら進め、子どもを中心に文化を引き継げるような体制づくりを考えていきたいと思っています。

質問　幼児期と児童期の教育の連続性・一貫性を確保することが重要である。架け橋プログラムにどのように取り組んでいるのか。

教育部長　園で培った資質・能力が小学校の学びの基礎としてどうつなげるか連携するための研修会を開催し、幼児教育と小学校教育をスムーズにつなぐために、架け橋期のカリキュラムを活用して教育の連続性を確保しています。



津久田小人形クラブの練習風景

質問　旧赤城キャンプ場のトイレ等の解体は、議会の附帯決議を重く受け止め関係部局と協議し方針を決めるとの回答だったが結果は。

商工観光部長　ヒメギフチョウ保護活動に関する事業の実施状況および解体後の活用を再度協議した結果、トイレ棟、炊事棟、これに付随する施設を存置し、所管を教育委員会に移管し、ヒメギフチョウ保護活動において利活用します。



後藤　弘一

市民生活の安全安心

河川の安全と活用

質問　国道291号の吾妻橋上下流域の中州では、土石の堆積や雑木の繁茂が見られるがこの状況を把握しているのか。また、県とどのように連携しているのか。

建設交通部長　市は現地状況を継続的に把握し、安全確保に向けて県と情報共有や現地調査を行うとともに、必要な対策の早期実施を県に強く働きかけ、市としても適切な対応に努めてまいります。

質問　清流祭りは今年度中止だが、来年度以降開催する予定はあるか。

建設交通部長　駐車場の確保などの課題があり、会場選定が困難な状況です。安心・安全な会場を確保するため、清流祭り実行委員会と協力して検討していきます。

市職員の働きがい・働き方改革

質問　市長と全職員との面談は、どのような方法で実施されたのか。

市長　課長から主事級職員の約660人を対象に、20人程度に分けて36回行いました。仕事に自負を持って欲しいことを伝えたほか、自己紹介、意見交換を行いました。

質問　職員からは、どのような意見や要望があげられたのか。

市長　エレベーターの位置、子どもの遊び場の設置など新庁舎に関する意見が多いほか、人事関係などさまざまな意見がありました。

全国学力テスト

質問　結果から見えた課題は。

教育部長　質問調査の「分からないことがあれば、自分で学び方を工夫していますか」という質問で否定的な回答者は、各教科の平均正答率が低くなる傾向でした。



心配な河川の土砂と雑木



須田　勝

オール渋川・チーム渋川・1年

しぶかわ回生の進ちょく

質問　星名市長が就任し1年が経過した。「しぶかわ回生、そして前へ」戦略の進ちょく状況は。

市長　7つの戦略の進ちょく状況ですが、就任1年というところですので、大きく前進という訳にはまいりませんが、すべての戦略において進ちょくを図ることができたと考えます。今後も公約の実現に向け「オール渋川・チーム渋川」を合い言葉に全庁を挙げて着実に進めていきたいと考えています。

質問　人口減少対策として、婚活課設置、各地域に結婚相談員を。

市長　現時点では、婚活専門の所属を設置する考えはありませんが、結婚相談員の件を含め、行政としてできる支援を研究していきます。

赤城地区の地域振興

質問　赤城地区で地域振興を考える会による住民説明会が開催されたが、市長は知っていたのか。また、地域団体が自主的にこのような取り組みを行うことを市長はどのように考えているのか。

市長　説明会の開催は承知しています。地域の課題は行政だけで解決できるものではなく、地域の皆さんが自主的に将来を考え意見を交わす取り組みに敬意を表します。

自治会の再編統合

質問　近年人口減少が進み空き家が増える中、自治会活動が「ままならない」状況であるが、再編統合に向けた検討を行う考えは。

市民生活部長　再編統合を後押しする体制や環境を整備し、持続可能な自治会運営および活動の推進に向けた支援を行っていきます。



オール渋川・チーム渋川の進ちょく



高野　佳美

持続可能なまちづくりに向けて

猛暑時の避難環境と要配慮者支援

質問　熊本地震を踏まえた本市の課題は。また、猛暑時を想定した避難環境の確保と車中避難者への支援にどう取り組んでいくのか。

市民生活部長　課題は暑さ対策と車中または在宅避難者の把握で、住宅および水道施設の耐震化の促進が重要と考えます。現在実施している避難所開設運営訓練では、暑さへの対策は想定できていませんし、車中避難者の専用エリアの指定も行っていませんが、災害応援協定によりダイナム様から駐車場とトイレが提供されます。

質問　本市における医療的ケア児の個別避難計画の作成状況は。

福祉部長　災害に備える災害時個別プランの作成対象となる医療的ケア児は、市内に1人おり、渋川保健福祉事務所にて作成済みです。

質問　医療機器を使用する方への電源確保等の重要性を踏まえ、安心して避難できる体制の充実にどのように取り組むのか。

市長　重要な課題であるとの認識の下、市が避難行動を直接支援できなくても安心してもらえる環境をつくれるよう支援を検討します。

ふるさと納税と自主財源確保

質問　本市の令和7年度ふるさと納税の寄附額は約3億5000万円だが、全国上位の自治体は200億円を超えている。自主財源確保と地域経済の活性化のため、さらに活用を拡大させていく考えは。

市長　ふるさと納税は貴重な財源です。引き続き市内の事業者と連携し、より多くの人に関心を持ってもらえるよう努めていきます。



自主財源確保に向けて
ふるさと納税返礼品の見直しを

一般質問

※匿流：正式名称は「匿名・流動型犯罪グループ」で、指示役が匿名で、実行役が流動的に入れ替わりながら犯行を行う集団のことです。



髙澤　幹

やすらぎとふれあいに満ちたほっとなまち渋川市

子どもたちの望ましい学び

質問　学びの多様化学校、校内支援センター、通級指導教室等子どもが選択できる学習環境の整備を。

教育部長　障害の有無に関わらず共に育つ教育環境を目指し個々の教育的ニーズに応じた支援の充実のための取り組みを進めています。

質問　適正規模・適正配置の決定前の通学バス利用基準の見直しは。

教育部長　本市の距離基準は、国や県内他市に比べても利用者の拡大を図り運用している状況であり、基準は妥当と考えています。

質問　適正規模・適正配置に関し子どもの声を聞き反映する考えは。

教育長　令和5年度にアンケートを取ったのが最後ですので、こんな学校に通いたいなど、子どもたちの意見を聞きたいと思います。

防災

質問　地域防災力向上につながる自主防災リーダーの養成・研修は。

市民生活部長　自主防災リーダー会は会員が中心となって活動していることから、研修等の実施は会と検討していきます。

質問　公共施設の建設・改修の際、防災観点からの助言はしているか。

市民生活部長　施設の改修等は設置目的に沿って行われるものですが、今後は防災部局が計画段階から関われるよう検討します。

市民目線の施設管理

質問　本庁舎授乳室は、安心して授乳ができる環境だと考えるか。

市長　安心して利用できる状況にはないと思います。利用者のプライバシー等に配慮した環境とすべく新年度に向け検討していきます。



子どもたちの学びと地域の未来を大切にした学校づくり



茂木　弘伸

安全で安心なまちづくり

質問　信号機や横断歩道などの設置要望はどのくらいあるのか。

市民生活部長　昨年度の要望件数は横断歩道関連が8件、一時停止線設置が2件、押しボタン式信号機設置が1件の合計11件で、市として渋川警察署へ要望しました。

質問　上信自動車道の藤ノ木東交差点は事故が多発しているが、どのような安全対策をしているのか。

建設交通部長　信号機の表示改良や区画線の引き直しなど、各関係機関が所管する多角的な安全対策を連携して推進していきます。

地域の防犯対策について

質問　昨年度の市内の刑法犯認知件数と詐欺被害発生件数は。

市民生活部長　刑法犯の認知件数は481件で高止まりです。詐欺被害件数は3件で前年より減少しましたが被害額は増えています。

質問　近年問題の匿流※犯罪や詐欺被害防止の防犯対策支援の実績は。

市民生活部長　防犯カメラやカメラ付インターホンなど防犯機器購入費補助は324件、詐欺被害防止電話機購入費補助は86件です。

市の自然環境を守る

質問　市内のクビアカツヤカミキリによる被害状況は。

農政部長　昨年度の調査では16本の被害が確認されており、内訳はサクラ1本、ウメ1本、モモ6本、スモモ2本、その他6本です。

質問　被害が広がる前の対応が必要だが現在行っている市の対策は。

農政部長　民有地の被害木の所有者に対しては防虫ネットや薬剤などの無償配布、市有施設においても早期防除を実施しています。



藤ノ木東交差点で事故多発、改善急げ

※KPI：Key Performance Indicatorの略で、最終目標を達成するためのプロセス（中間目標）の達成度合いを数値で測る「重要業績評価指標」のことです。



田村なつ江

市民の生活環境の向上

高齢者等の移動支援

質問　これまで、高齢者タクシー利用券には一回の使用枚数制限があったが、自由化されたのか。

建設交通部長　令和８年度においては、一回の乗車で使用できる枚数について、制限をしていません。

質問　紙のタクシー利用券を残すなど利用者が選択できる制度にすることを提言するが、市の見解は。

市長　公共交通の持続性の観点も重要であるため、紙のタクシー利用券とキャッシュレス化との両立を図りながら、多様なニーズに応えられる施策を検討します。

質問　デマンドバス「しぶのり」は、今後利用者の声を踏まえて乗降場所を見直していく考えは。

建設交通部長　乗降場所の設置要望は、随時受け付けています。今後も利用者の声を踏まえて増設し、利便性の向上に努めます。

道路の維持管理

質問　通学路でもある子持地区の県道渋川東吾妻線に毛虫が大量発生している。県と連携し必要な対応につなげていく考えは。

建設交通部長　市と県が緊密に連携し、毎年度の毛虫対策について情報共有を図り、地域住民の安全安心の確保に努めます。



渋川市高齢者タクシー利用券

農地バンク活用による税制優遇

質問　農地を農地バンクに貸し付ける場合の優遇制度や相談体制は。

市民生活部長　10年以上の貸付期間では、貸付農地の固定資産税等が3年間2分の1に軽減されます。

農政部長　農地の貸し借り等の相談を受けた際、市税の優遇制度についても説明しています。



福島　丘泰

情報・人・拠点をつなぎ、持続可能な渋川をつくる

公民館人員配置の客観指標化と地域拠点の再設計

質問　公民館職員配置の妥当性を検証するため、現在、配置基準の客観指標化の運用は行っているか。

教育部長　公民館の職員はその公民館の設備の設置状況等により対応できるよう配慮しており、客観指標化は行っておりません。

質問　新設された古巻公民館を単なる施設の建設ととらえず、地域経営拠点とし展開していく考えは。

総合政策部長　古巻公民館を地域課題に対応する拠点の一つととらえ、南部地域全体の在り方を関係所属と連携しながら検討します。

行政情報戦略による市民サービスの向上と行政改革の推進

質問　行政情報をただ発信するだけではなく、その効果を検証し業務改善につなげられているか。

総合政策部長　市公式ＬＩＮＥによるはたちを祝う会オンライン参加手続では受付事務の簡素化や人数集計の迅速化につながりました。

質問　生成ＡＩの活用は業務を効率化し行政サービスの質を向上させると考えられるが、活用方針は。

総合政策部長　生成ＡＩサービスは、業務の効率化、生産性の向上、コストの削減などに寄与するため、業務を限定することなく、積極的に活用していく方針です。

質問　成果指標やＫＰＩ※による検証や改善を行う「行政情報戦略」を行政経営に位置付ける考えは。

市長　広報広聴戦略プランに定める、情報発信から伝達状況確認、効果測定を経て、新たな情報発信を行う流れの確立に取り組みます。



情報発信から地域拠点まで
人がつながるまちづくりへ